

—学 会 録 事—

1. 日本藻類学会第5回春孝大会

昭和56年3月31日と4月1日の両日、筑波大学第2学群において第5回春季大会が開催された。大会準備委員会は当初地理的な不便さによる参加者の減少を危惧したが、実際に受付を開始してみるとその不安は一掃され、最終的には参加者125名(当日参加者を含む)、一般講演49題におよんだ。また、J.A. WEST 教授(カリフォルニア大学・パークレー)の特別講演が本大会をさらに一層盛大なものにした。大会第1日、昭和56年総会に引続き開かれた懇親会は参加者101名となり、春季大会始って以来の大規模なものとなった。学会活動の隆盛を喜びたい。しかし、参加者や講演題数がこれ以上増えた場合には大会準備や日定、プログラム編集など従来の規模では処理できなくなるので、その対策を考えなければならないといった新たな問題がおきてきた。

大会、総会並びに懇親会の開催に協力をいただいた筑波大学生物科学系長市村俊英教授と大悟法滋講師並びに大学院学生諸氏に感謝申し上げる。また特別講演を引き受けて下さったJ.A. WEST 教授と特別講演の企画準備に助力をいただいた北海道大学理学部植物学教室の黒木宗尚教授及び同教室の方々に御礼申し上げます。

大会参加者：赤星りか、秋岡英承、秋山 優、鱒坂哲朗、荒木 繁、有賀祐勝、安藤一男、猪川倫好、石川依久子、石橋勇人、出井雅彦、井上 勲、岩崎英雄、J.A. West、臼田康子、大島海一、太田雅隆、大谷修司、岡崎恵視、岡部作一、奥田武男、長田敬五、納田美也、垣内政宏、加崎英男、梶村光男、加藤久美子、加藤季大、加藤 孝、金沢昭人、金子 孝、川井浩史、姜 悌源、喜田和四郎、木村敦子、木村いづみ、楠元守、工藤純子、熊野 茂、黒木宗尚、高原隆明、後藤敏一、小林艶子、小林 弘、今野敏徳、斎藤英三、斎藤昭二、斎藤 実、沢地なおみ、清水 哲、須貝敏英、鈴木健策、関谷公範、瀬戸良三、造力武彦、高木勝行、高田英夫、高野秀昭、高橋京子、高橋宗弘、田尻純仁、田中次郎、千原光雄、千葉尚二、塚田善也、鶴岡英作、寺尾公子、当真 武、中里広幸、中庭正人、中野武登、中村 武、中村義輝、長島秀行、南雲 保、西澤一俊、二宮早由子、野崎久義、野沢美智子、野呂忠秀、長谷井稔、畑田太美子、畑野智司、服部 彩、浜田真実、

原 慶明、半田信司、坂東忠司、平山知子、S.S. Fotos、福島 博、福田明芳、福田育二郎、藤井修平、藤井美奈子、藤田大助、舟橋説往、堀 輝三、堀口健雄、前川行幸、正置富太郎、増田道夫、松山恵二、真山茂樹、丸山 晁、万谷司郎、右田清治、水野 真、宮地和幸、森 宏枝、諸星裕夫、Dirce Yano、山岸高旺、山田家正、山 崙 登、横地洋之、横浜康継、吉崎 誠、吉田忠生、吉武佐紀子、渡辺 信、渡辺 信、渡辺真之、渡辺恒雄

2. 評議員会報告

第5回春季大会前日3月30日(17:30~19:30)、筑波研修センターで評議員会が開催され、昭和56年度総会に提出される報告事項および議題について審議された。審議内容は総会報告の項と重複するので、その項を参照されたい。

出席者：千原光雄会長、加崎英男、小林 弘、西澤一俊、山岸高旺、喜田和四郎、秋山 優、奥田武男、右田清治、各評議員、原 慶明、横浜康継、井上 勲、堀 輝三、渡辺真之、各幹事。

3. 編集委員会報告

3月30日、評議員会に先だち(15:30~17:30)、筑波研修センターで編集委員会が開かれた。その内容は評議員会で審議され総会で報告されたので、総会の項に詳しい。

出席者：千原光雄会長、堀輝三編集委員長、秋山 優、岩崎英雄、黒木宗尚、小林 弘、正置富太郎、右田清治、西澤一俊、吉田忠生、各編集委員、渡辺真之編集幹事、井上勲会計幹事

4. 昭和56年度総会

昭和56年3月31日、春季大会第1日(17:30~18:30)、筑波大学において昭和56年度日本藻類学会総会が開催された。千原光雄会長の挨拶に引き続き、議長に山岸高旺氏(日本大学)を選出し、審議に入った。その内容は下記のものである。

I 報告事項

1. 庶務関係

- (1) 会員状況(56. 3.29現在) 名誉会員1名。
普通会員472名。学生会員52名。団体会員40件。賛助会員14件。外国会員63名。

- (2) 昭和55年度文部省科学研究費補助金「研究成果刊行費」70万円を受けた。
- (3) 日本学会事務センターに学会業務の一部を委託する契約が締結され、昭和56年1月1日より、下記のように業務内容が振り分けられた。
- 学会事務局の業務
- 〔会計関係〕
- ア) 学会刊行物の販売
- (1) 学会誌の販売、但し外国の定期販売は除く。
- (2) 学会出版物（コンプ論文集、日米セミナー、山田追悼号）の販売。
- イ) 論文別刷代、論文頁数超過負担金、広告代の徴収。
- ウ) 山田幸男博士記念事業基金の管理。
- エ) 会計監査。
- 〔庶務関係〕
- ア) 総会、評議員会、編集委員会、春季大会等の準備。
- イ) 学会刊行物の管理。
- ウ) 論文別刷の発送。
- エ) 選挙業務。
- オ) 文部省科学研究費補助金「研究成果刊行費」の申請。
- カ) 寄贈・交換文献の管理。
- 〔編集関係〕
- ア) 編集一般の業務
- 日本学会事務センター委託業務
- 〔会計関係〕
- ア) 学会費の徴収
- (1) 普通、学生、団体、外国、名誉会員を扱う。
- (2) 学会費納入は郵便振替または銀行振り込みに限る。
- (3) 年3回学会費納入請求が行なわれる。
- 〔庶務関係〕
- ア) 会員業務
- (1) 会員原簿の管理。
- (2) 新入会、退会、住所変更の手続。
- イ) 会誌の発送
- (1) 会員および寄贈、交換、販売のための会誌を発送する。但し国内の定期販売は除く。
- (4) 日本植物学会第46回大会開催時（岐阜：岐阜大学）に講演会および懇親会を行なう計画で、中部地区会員の渡辺信氏（富山大、教養）と協議中である。
2. 会計関係
- (1) 昭和55年度および昭和56年度の会員納入状況が報告された。
- (55年度納入状況) 普通会員81%、学生会員96%、団体会員75%、外国会員82%、賛助会員76%、(56年度納入状況) 2月28日現在、普通会員、学生会員とも60%を越えている。
- (2) 昭和56年1月1日より会費の納入先が学会事務局から日本学会事務センターは変更になったこと、それにともなって納入方法も改訂された旨報告された。
3. 編集関係
- 学会誌の発行状況と投稿論文数について報告された。29巻1号は本年3月10日に刊行され、現在29巻2号を6月20日発行を予定し編集集中である。現在未審査のものを含め、欧文15編、和文7編の原著論文が投稿されている(29巻2号の掲載予定論文を含む)。
4. 評議員会関係
- 総会に提出された議題の他に以下のことが審議された。
- (1) 山田基金の用途について
- 山田基金の用途については100万円に到達した時点で具体化する方針が決められてあった。55年末に山田基金が100万円を越えた(表-2参照)ので、学会費、特別出版物、研究助成等の具体案が提出され審議が行われた。しかし最終結論を出すにはさらに十分な審議を要すること、およびその期間に基金を増やす方向で努力することが確認された。
- (2) 編集委員会
- ① 学会誌の編集方針として、欧文ページと和文ページが半々になるように努力する。
- ② 英文原稿で編集委員から英文の書き直しが指示された場合、外国人を紹介するよう(謝礼は著者負担)努力する。
- ③ 和文原稿の abstract の英文は予算の許す範囲で謝礼を支払い外国人に校閲してもらう。
- ④ 学会誌の体裁を損わない程度で広告を掲載する。
- (3) 春季大会補助金の件
- 従来春季大会の補助金として6万円が計上さ

れていたが、その額を10万円まで引きあげる。

- (4) 日本植物学会第46回大会のシンポジウムの件
日本分類学会会長加崎英男氏より、日本植物学会のシンポジウムを共催したい旨の要請があった。

II 議題

1. 55年度一般会計決算報告・同監査報告

55年度決算については本年1月17日会計監事川端清策・三上日出夫両氏の監査を受け、表-1のとおり報告承認された。

2. 55年度山田幸男博士記念事業基金特別会計決算報告・同監査報告

一般会計と同様に、表-2のとおり報告承認された。

3. 56年度一般会計予算案

原案に一部修正を加え、表-3のとおり承認された。

4. 56, 57年度事業計画案

以下のように承認された。

- (1) 56年10月岐阜大学で開催予定の日本植物学会の折に講演会と懇親会を開く。
- (2) 57年春季大会および総会を筑波大学で開催す

る予定。

5. 中村義輝先生名誉会員推薦の件

学会長を経験し、満70才になられた会員は本会名誉会員の有資格者となり、会の承認を得て名誉会員になることができる。今回、中村義輝先生が時田旬先生について2人目の名誉会員に推薦され承認された。

6. 学会誌への投稿規定一部改訂の件

以下のように承認された。

- (1) 印刷経費の高騰に伴ない、実状に合わせて超過頁負担金を現在の1頁7千円から1万円に改める。
- (2) 投稿論文の図版・写真は原則として原寸大とし、図版にかぎり印刷頁の2倍以内の大きさまで認める。
- (3) 不備原稿などの返送にかかる費用は投稿者負担とする。

7. 春季大会参加費の件

春季大会は参加者数、講演題数が年々増加しそれにつれて大会開催費用が膨張してきたため、従来の参加費1,500円を2,000円に改めることが提案され承認された。

表-1 昭和55年度 一般会計決算報告

日本 藻 類 学 会

収 入 の 部 (円)		支 出 の 部 (円)	
会 費	2,426,398	印 刷 費	3,291,150
普通 会 員	370件 1,564,000	(28巻1~4号)	3,055,800
学 生 会 員	47件 116,000	別 刷	235,350
外 国 会 員	51件 366,398	発 送 費	215,910
団 体 会 員	30件 130,000	(28巻1~4号)	173,740
賛 助 会 員	10件 250,000	別 刷	42,170
販 売	324,250	通 信 費	42,620
(定期 販売 (28巻33口))	198,000	編 集 費	62,367
バックナンバー	126,250	(論文審査料 24件)	24,000
別 刷 代	255,550	通 信 費	38,367
論 文 頁 数 超 過 負 担 金	329,000	庶 務 費	179,466
預 金 利 息	61,287	(事務用品等)	2,716
広 告 代	155,000	会 議 費	25,500
文 部 省 科 学 研 究 費	700,000	事 務 整 理 補 助	71,750
		印 刷 費	28,500
		学 会 事 務 セ ン タ ー	
		委 託 カ ー ド 作 成	51,000

		送換金手数料	18,150
		幹事手当(5名)	60,000
		春季大会運営補助	59,569
		幹事旅費補助	100,000
		(札幌-東京 2回 総会出席, 学会事務センター打合せ)	
		選挙費用	74,450
		(通信費)	28,850
		(印刷)	45,600
		学会事務センター初年度経費	0
小計	4,251,485	小計	4,103,682
前年度繰越金	1,446,292	予備費	1,594,095
合計	5,697,777		5,697,777

昭和56年1月17日

日本藻類学会 会長 黒木宗尚 ㊟
会計幹事 山田家正 ㊟

本決算報告は適正であることを認める

昭和56年1月17日

会計監査 川端清策 ㊟
会計監査 三上日出夫 ㊟

表-2 昭和55年度 山田幸男博士記念事業基金特別会計決算報告 日本藻類学会

収入の部 (円)		支出の部 (円)	
山田追悼号売上金 (6冊)	33,500		
学会出版物売上金	43,300		
(コンプ論文集 (19冊))	13,300		
(日米セミナー (10冊))	30,000		
預金利息	46,178		
寄附金 (7件)	130,000		
小計	252,978		
前年度繰越金	753,418	次年度へ繰越	1,006,396
合計	1,006,396	合計	1,006,396

昭和56年1月17日

日本藻類学会 会長 黒木宗尚 ㊟
会計幹事 山田家正 ㊟

本決算報告は適正であることを認める

昭和56年1月17日

会計監査 川端清策 ㊟
会計監査 三上日出夫 ㊟

表-3 昭和56年度 一般会計予算案

日本藻類学会

収 入 の 部 (円)			支 出 の 部 (円)		
会 費		2,705,000	印 刷 費		3,540,000
普通会員 480件		1,920,000	〔 29巻1～4号		3,140,000
学生会員 50件		125,000	別 刷		400,000
外国会員 50件		250,000	学会事務センター業務委託費		1,105,000
団体会員 40件		200,000	〔 経 常 経 費		745,000
賛助会員 14件		210,000	〔 初年度経費		360,000
販 売		712,000	発 送 費		107,000
〔 定期販売 (29巻52口)		312,000	〔 販売発送		52,000
〔 バックナンバー		400,000	〔 別刷発送		55,000
別 刷 代		455,000	編 集 費		220,000
論文頁数超過負担金		200,000	〔 論文審査料 (40件)		40,000
廣 告 代		250,000	〔 通 信 費		84,000
預 金 利 息		25,000	〔 編集整理補助		96,000
春季大会プログラム代		20,000	庶 務 費		180,000
文部省科学研究費		700,000	〔 事務用品費		70,000
			〔 会 議 費		30,000
			〔 事務整理補助		40,000
			〔 雑 印 刷		40,000
			送換金手数料		6,250
			幹 事 手 当		60,000
			幹事旅費補助		26,400
			春季大会補助		100,000
			春季大会プログラム印刷代		20,000
小 計		5,067,000	小 計		5,364,650
前年度繰越金		1,594,095	予 備 費		1,296,445
		6,661,095			6,661,095

日本藻類学会第5回春季大会 (56. 3.31～ 4.1) 会計決算報告

日本藻類学会
春季大会準備委員会

収 入 の 部 (円)			支 出 の 部 (円)		
大会参加費 (126件)		189,000	宿 泊 代		297,400
懇親会費 (101件)		202,000	〔 筑波研修センター		278,400
宿泊費 (118泊)		283,200	〔 筑波大学学生会館		5,100
寄 附 (2件)		40,000	〔 キャンセル分		13,900
学会補助金		100,000	懇親会会食代		205,000
			学会会場費		13,125
			〔 会場使用料		6,881
			〔 光 熱 費		6,241
			印 刷 代		36,500
			〔 プログラム別刷代		20,000
			〔 名札・振替用紙印刷		16,500
			アルバイト代		185,500
			雑 費		33,536
			学会補助金返却分		43,139
合 計		814,200			814,200